TTC 定例山行実施記録表 v.1

2010 年 7 月 20 日　報告者:佐藤末治(1/2)

山行名	**木曽駒ヶ岳**　[2956m　長野県]
実施日	2010 年 7 月 17 日（土）～18 日（日）　1 泊 2 日　ﾚﾝﾀｶｰ（マイクロバス）利用
天候／参加人員	天候：晴れ　レベル：★★☆　参加人員：11 名（男 5 人／女 6 人）
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	CL:、SL:、会計:、救護: 計画:、ﾄﾞﾗｲﾊﾞ:　氏　名　削　除
参加メンバー	A: ☆ B: ☆　氏　名　削　除　合計 11 名
費用 **￥23,400－** （ｶﾝﾊﾟ金￥1,900）	内訳：ﾏｲｸﾛﾊﾞｽﾚﾝﾀﾙ料（ﾊｲｴｰｽ料金@25,000×2）￥50,000、ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ謝礼（@18,000×2＋宿泊加算¥2,000）￥38,000、ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ宿泊代￥8,000、燃料代（@110×550／5）（待機 50ｋｍ含む）￥12,100、高速料金（相模湖～駒ヶ根￥3,550、駒ヶ根～大月￥2,950）￥6,500　**交通費合計￥114,600** 宝剣山荘（@8,500×11）￥93,500、路線ﾊﾞｽ・ﾛｰﾌﾟｳｪｲｾｯﾄ料金（@3,800×11）￥41,800 入湯料（回数券 10 枚￥5,000＋￥600）￥5,600　**その他合計￥140,900** **支出合計 255,500　収入合計**（@23,400×11）**￥257,400**　残金**￥1,900** を TTC にｶﾝﾊﾟ

歩行・行動時間

	歩行時間		休憩時間		行動時間	
	7/17	7/18	7/17	7/18	7/17	7/18
ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	0:55	4:55	—	—	—	—
計画	1:05	5:10	40	1:55	1:45	7:05
実行	1:05+50	6:18	30	1:12	1:35+1:00	7:30

7/18 の濃ヶ池～駒飼ノ池間は 4 箇所の雪渓の踏破とﾙｰﾄ探索に時間を要し、予定より大幅な時間超過となった。

実行コースタイム記録

◆ **7／17(土)**　中央道　ﾊﾞｽ　ﾛｰﾌﾟｳｪｲ

本厚木===相模湖 IC===談合坂 SA===小黒川 PA===駒ヶ根 IC===菅の台ﾊﾞｽｾﾝﾀｰ===しらび平～～～千畳敷——

6:10　7:20　7:28　7:45　9:20　9:40　9:47　9:50　10:05　10:35　10:43　10:47　11:00

5　昼食　60　25　25

——剣ヶ池——宝剣山荘（天狗荘）——宝剣岳——天狗荘（泊）（宝剣岳往復はオプション）

11:05　11:35　12:35　13:30　13:55　14:05　14:30

◆ **7／18(日)**　30　25　1:48　20　1:40　45　50　ﾛｰﾌﾟｳｪｲ

天狗荘——中岳——木曽駒ヶ岳——濃ヶ池分岐——濃ヶ池——駒飼ノ池——宝剣山荘——千畳敷～～

5:55　6:25　6:30　6:55　7:05　8:53　9:13　9:40　11:20　11:35　12:20　12:35　13:25　15:00

ﾊﾞｽ　入浴　中央道　R20

しらび平===こまくさの湯===駒ヶ根 IC===諏訪 SA===大月===相模湖===本厚木

15:07　15:15　15:56　17:10　17:20　17:45　18:00　21:57　22:50

コースの概要、特記事項、反省事項等

◆ 7/17（土）

前日の話では、ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰの Im さんが風邪気味で熱は無いが咳が止まらないため、自分も同乗するが運転は It さんに代わってもらうとのこと。確かに It さんは休会中の TTC ﾒﾝﾊﾞではあるが、具合の悪い Im さんに駒ヶ根まで付き合ってもらうのもお気の毒なので、CL の独断で It さんお一人でﾄﾞﾗｲﾊﾞｰを務めてもらうこととする。尚、使用するはずだったﾊｲｴｰｽはﾄﾖﾀﾚﾝﾀの都合で手配がつかず、料金はﾊｲｴｰｽのままでﾏｲｸﾛﾊﾞｽを使用することになった。

中央道を快調にとばし、駒ヶ根 IC 手前の小黒川 PA で最後の休憩をとる。心配したしらび平からのﾛｰﾌﾟｳｪｲは、待ち時間なしで乗ることができた。予定より 50 分も早く宝剣山荘にﾁｪｯｸｲﾝ。宝剣山荘は混雑で部屋は大部屋になるとのこと。同経営の隣の小屋「天狗荘」なら個室が二つ用意できるが、食事は宝剣山荘に足を運ぶことになる。どちらにしますか？とのこと。ためらわず、天狗荘を選ぶ。

時間が有り余ったので、ｵﾌﾟｼｮﾝで宝剣岳ﾋﾟｽﾄﾝを提案。希望者を募ったところ、何と全員が参加するとのこと。ﾘｰﾀﾞｰ自身がまだ未体験であったため、少々あせった。結果、11 名中 9 名で山頂を目指す。前評判ほどのこともなく、楽々と山頂を極めた。山頂にある２ｍほどの尖がった岩はさすがに難易度が高い。よじ登ったのは内 2 名だった。天候にめぐまれ、360 度の大展望、やはり山に登るなら、天気のいい日にかぎる。

小屋に帰って、男性陣は夕飯前の恒例の宴会でもりあがる。

◆ 7/18（日）

計画より 1 時間早く小屋を出発。朝日にかがやく稜線を山頂を目指して快調に歩を進める。木曽駒ヶ岳山頂は 360 度見渡す限りの大展望。東に南ｱﾙﾌﾟｽの稜線、その奥に富士山の頭がわずかに見える。北東に八